

国語科学習指導案

平成 23 年 10 月 11 日 (火) ～ 10 月 21 日 (金)

中学 3 年生対象 指導者 塩野谷 喜生

1 育成する能力

○資料の情報に関心を持ち、自分なりに考えようとする態度。【国語への関心・意欲・態度】

◎文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。【C 読むこと ウ】

○漢字を正しく読み、文章のつながりをとらえること。【言語に対する知識・理解・技能】

2 評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	言語に関する知識・理解・技能
①資料の情報に関心を持ち、進んで自分の考えをもとうとしている。	①自作テキストを作成するために、資料を読み比べたり関連させたりしながら文章全体の理解を深めている。(イ) ②構成や展開、表現の特徴や効果を評価し、テキストとしての意図が読み手によく伝わるよう再構成している。(ウ)	①段落の役割や段落相互の関係を示す語句や指示する語句に着目し、文章のつながりを意識して読んでいる。

3 取り上げる言語活動

イ 資料に盛り込まれた情報を比較して読むこと

第 1 段落から順に文章を読み進めるだけでは気付かず、表面的な理解で終わってしまうことも、段落ごとに分解した文章を、書かれている情報を比較して並べ替えたり、文章以外の資料と関連させながら読み取っていくことでより表現に着目するようになり、深い読み取りができるようになる。特に、筆者の思いや考えを理解した上で、構成や展開を考えることにより、筆者の表現意図が理解しやすくなる。

4 取り上げる題材

(1) 題材名 「構成・展開をとらえて読む」

「オオカミを見る目」 高槻成紀 (東京書籍「新しい国語 1」)

(2) 生徒の実態

【国語への関心・意欲・態度】

本学年の生徒たちは、理解した内容について進んで発言しようとするなど、授業を活性化させてくれる生徒がいる反面、自分の考えに自信が持てなかったり、発言することに恥ずかしさを感じているのか消極的になりがちな生徒も少なくない。一斉授業では発言する生徒が偏ってしまうようなこともあるが、小グループの活動では自分の考えを発言できるので、お互いの意見を出し合ったり、交流して深め合ったりという学習は、ペアから小集団、小集団から全体に広がっていくことが多い。学習に取り組む姿勢や学習意欲面への配慮として、資料の提示方法を工夫したり、板書を工夫したりしている。

【読むこと】

7 月に「写真と文章と効果的に使った表現方法を理解し、写真と文章とを結びつけて読み取ることによって筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを深めることができるようにする。」という目標で説明的な文章に写真を結び付けて内容をとらえる学習を行った。文章を補う写真、写真を説明している文章という視点で読んだため、生徒たちは写真の情報と文章からの情報とを結び付けて考えることができた。「フォトストーリー」という名前からもわかるように、取り上げた

文章自体、写真に依存している部分が大きかったため、生徒の学習後の感想にも、「文章と資料とを重ね合わせながら考えると分かりやすい。」など、写真がもつ力と、そこに添えられた文章との相乗効果によって理解が深まったというような内容のものが多かった。

この学習で、文章と資料とを関連させながら内容をとらえることの意味や重要性については理解することができたが、文章の構成や論理の展開に即して筆者の考え方を読み取ることや、それについて自分の考えをもつこと、自分の考えの根拠を説明するところまでは至っていない生徒が多い。

【言語についての知識・理解・技能】

指示語や接続語については、あまり意識することなく普段から使っているが、生徒によっては指示語を多用したり、同じ接続語を重ねて使ったりと、効果的に使えない生徒もいる。指示する内容がとらえられないと正確な内容理解ができないこと、接続する語によって後にくる文章の内容が限定されることなど、文章構成や論理の展開を捉える重要な手がかりとなるものであり、内容理解に深く関わることに気付かせたい。

(3) 題材観

「情報化社会」「国際化社会」と呼ばれる今日の社会を生きるためには、情報の価値を吟味する力、論理的に考える力、自分の目的に沿って考えを構築する力、自分の考えを適切に表現する力など、たくさんの力が求められる。

新学習指導要領で言語活動例が「内容」に組み入れられるなど、言語活動の充実が重要視されている国語科においては、言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視している。言語活動の土台となるものは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」四本柱である。中でも、生徒が多様な言語に出会い、その言語を獲得していく土台となる「読むこと」領域の学習は、他教科との関連も含めて最も重要視すべきであると考えられる。

本教材は、人々のものの見方が、時代や社会的な背景によって変わること、明確な文章構成で伝える説明的な文章である。筆者は、ニホンジカの生態学研究を長く続け、シカと植物群落の関係を解明してきた野生動物保全生態学者、高槻成紀である。筆者は、ここではシカではなくオオカミに視点を当て、『赤ずきん』に出てくるような悪魔のようなオオカミと、神社で神としてまつられるオオカミ——ヨーロッパと日本とで、なぜオオカミに対する見方が違ったのか」また、「なぜ日本でオオカミのイメージが昔と変わってしまったのか」この二つの問いに答えていく形で論を進めている。この文章は第1学年用の教科書に掲載されている文章ということもあり、明快な構成で論理の展開がとらえやすい。また、写真や絵などの資料が効果的に使われており、内容理解を助けている。(今回、写真や絵などの資料は教科書掲載のもの以外にも、構成や展開をとらえる上で有効と思われるものを数枚追加した)さらに、文章に接続表現と指示語が数多く巧みに使われ、文章の構成や文・段落間のつながりを判断する手がかりとなっている。これらの点から、本文と図表とを対応させながら構成や展開をとらえ、自作テキストとして再構成する学習を行う上で格好の教材であると考えた。

評価の面では、構成や展開をとらえ、文章と図表とを組み合わせて再構成するので、文章の順番や図表の使い方など、生徒によって異なったテキストが出来上がるが、構成が不自然でなく、根拠がしっかり説明できればよいこととする。筆者が自身のホームページ上で述べている「20世紀が野生動物の受難の時代だったとすれば、21世紀はその反省に立って、人間と野生動物の関係を少しはよいものにしなければなりません(後略)」というメッセージと、本題材の最終段落にある、「このように、人の考えや行いは、置かれた社会の状況によって異なりもするし、また、変化し得るものだということを、心に留めておいてください」という結びとを合わせて、筆者の構成や展開

の工夫を読み取りたい。

5 指導目標

段落ごとに分解した文章・絵図などを比較・関連させながら、適切な文章表現や表現効果について考え、構成や展開をとらえて読む力を高める。

6 学習指導における具体的な評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	言語に関する知識・理解・技能
○資料の内容に関心を持ち、進んで資料の並べ替えを行い、構成をとらえようとしている。	○資料比較・関連させながら構成や展開をとらえることで、文章理解を深めている。 ○構成や展開を考えて自作テキストを作成し、構成の意図や表現の効果について説明している。	○段落の役割や段落相互の関係を示す語句や指示する語句に着目し、文章のつながりを意識して読んでいる。

7 指導方針及び学習の支援

【「つかむ」過程】

- 文章から取り出した情報と写真・絵図などから取り出した情報とを関連させて考えることで、自作テキストの基になる筆者の考えをとらえる。

【「追究する」過程】

- 文章と文章、文章と写真・絵図などの資料を比較・関連させながら自作テキストの構成を考えることで、構成や展開に関する理解を深める。
- 自分なりに考えた文章構成とその理由についてグループ内で説明し合い、意見交流を行うことで考えを広げる。

【「まとめる」過程】

- 構成を考え、意見交流したことを基に自作テキストを作成し、作成意図を説明し合うことで、構成や展開をとらえて読む力を高める。

8 指導と評価の計画（全6時間計画）

	時	学習活動	支援及び留意点	評価項目
つかむ	第1時	○学習の流れを確認する。 ・資料を組み合わせ、要旨に沿った自作テキストを作ることを知る。 ・文章の構成について簡単に復習する。	・自作テキスト作りの意味と方法について知る。 ・文章構成に関する既習事項について確認する。 ・オオカミの絵を掲示し、印象について話し合う。	【言語に関する知識・理解・技能】 文章構成に関する基本的な事項を理解することができる。（ノートへの記述確認）
	第2時	○自作テキスト作りの基となる筆者の考えを理解する。 ・筆者の研究内容、筆者の書いた文章の書評などから筆者の考えをとらえる。 ・絵図資料と関連させて考えることにより、筆者の考えを具体的にとらえる。	・筆者の略歴や著書について知り、文章の要旨をつかむ。 ・文章の要旨と絵図資料から読み取った情報と関連させて考え、意見交換する。	【読むこと】 資料から筆者のものの考え方や主張を捉えている。（ノートへの記述確認）
追	第3時	○資料を比較・関連させながら	・段落の内容理解のため、	【読むこと】

究 す る	3 時	<p>序論と結論をとらえ、絵図の配置について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵図資料を配付し、そこから読み取れる内容について考える。 ・ 段落ごとに分解した 17 枚の文章資料から構成を考えて序論と結論にかかわる最初と最後の段落を抜き出す。 (h・1) ・ 最初と最後の段落に関連する段落を見つけ、序論と結論をとらえる。 (h d k mと p 1) ・ 序論と結論に対応する絵図を選択し、理由を説明する。 	<p>必要に応じて語句の意味調べを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 序論と結論を見つけることで、文章の大枠をつかむ。 ・ 対応する絵図を見つけることで、構成をとらえるヒントとする。 	<p>序論と結論に当たる箇所を指摘し、理由を述べることができる。 (行動の観察、ノートへの記述確認)</p> <p>文章に対応させる絵図について、根拠を基に説明することができる。(資料への記述、ノートへの記述確認・行動の観察)</p>
第 4 時		<p>○資料を比較・関連させながら本論の内容をとらえ、絵図の配置について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 段落ごとに分解した文章資料から序論と結論を除いた 11 の文章資料を並べ替え、本論の構成について考える。 ・ 効果的な表現にするために、どの資料をどの文章のところに使いたいか考える。 ・ そのように構成した理由を説明できるよう準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本論の構成について、二つの問いとその答えという形で論が展開していることに着目して並べ替える。 ・ 文章を絵図が補完して分かりやすくなるという視点で資料選びを行う。 ・ 構成の根拠や資料選びの理由を説明できるようにする。 	<p>【読むこと】 絵図資料と結び付けて本論の構成をとらえることができる。(資料への記述、ノートへの記述確認)</p> <p>【言語に関する知識・理解・技能】 指示語や接続語に着目して文章構成をとらえている。(行動の観察ノートへの記述確認)</p>
第 5 時		<p>○文章資料の順序と絵図資料の配置など構成を吟味し、自作テキストレイアウトについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で各自の考えた構成について説明し合い、意見交流を行う。 ・ 交流で得た意見も参考にしながら構成や展開、使用する絵図資料を吟味し、自作テキストのレイアウトを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した自作テキストについて、基になる考えに照らして再度読み直し、構成や展開に不自然な点がないか確認する。 ・ 4人グループになり、構成とその理由、悩んだ点などを伝え合い、意見交流する。 	<p>【読むこと】 文章の順番や結び付けた資料について、根拠をはっきりさせて自分の考えを説明することができる。(資料への記述、ノートへの記述確認・行動の観察)</p> <p>交流したことを元に、考えを深めている。(ノートへの記述確認)</p>
ま と め る	第 6 時	<p>○これまでの活動を振り返り、構成や展開を考えて自作テキストを完成させ、構成理由を説明し、評価し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成や展開、資料の位置等を工夫し、自作テキストを 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚紙に印刷して配布した資料を再構成し、自作テキストとして完成させ、構成理由を書いた付箋紙をもとに説明し合う。 ・ 自作テキストの構成につ 	<p>【関心・意欲・態度】 活動を振り返って自作テキストを完成させ、進んで友達と交流しようとしている。</p> <p>【読むこと】</p>

完成させる。 ・友達と作成したテキストの構成理由を説明し合い、相互評価する。(友達の再構成の方法について) ・自作テキストに書かれている文章の表現の特徴や効果について評価する。(筆者の文章表現について)	いて相互評価し合う。 ・筆者の論理展開や説明の仕方、言葉の使い方など、参考にしたいところを見つける。	文章構成や文章表現の特徴や巧みさに気付き、評価している。(ノートへの記述確認)
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------	-----------------------------------------

9 本時の学習①

(1) ねらい

構成や展開を考えて、中学1年生向けの自作テキストを作成することを知り、文章構成について確認する。

(2) 準備・資料

資料①(基礎資料)「筆者のメッセージ・書評」、資料②(絵図資料)「文章の内容に関連する16枚の写真・絵図等の資料」、資料集、国語辞典、ノート、付箋紙

(3) 本時の展開

学習活動	時	指導上の留意点・支援	評価項目	予想される反応
つかむ		構成や展開を考えて作る自作テキストについて知り、文章構成について確認しよう。		
○学習の目標を知る。	15分	○読む力を高めるために、文章の構成や論理の展開に着目すること、そのために、ある題材を使って中学1年生向けのテキストを作成するという学習活動に取り組むことを伝える。 ・テキストの説明に際して国語の教科書を参考にし、気付いたことを発表し合ってテキスト(教科書)の特徴を考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・題名の字が本文より大きい・最後に筆者の説明がある ・絵や写真がたくさん使われている・大きなまとまり(単元)に分かれている・読みやすいように考えられている
追究する	15分	○文章の構成や展開の型、段落の役割などについて復習する。		<p>○文章の構成や展開の型、段落の役割などについて既習事項を振り返り、今後の学習に生かしていけるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇構成…序論・本論・結論 起承転結 ◇展開…時間的・空間的・心理的順序 原因→結果 結果→原因 一般→具体 具体→一般 ◇段落…文章の中で、内容的にひとまとまりになっている部分。 <p style="text-align: center;">【言語に関する知識・理解・技能】</p>

			B…序論・本論・結論、原因・結果など、既習事項を思い出すことができる。 A…文章構成や展開に関わる基本的な内容を理解することができる。(ノートへの記述確認)
	○オオカミについての知識や印象について発表し合う。	15分	○オオカミについての知識や印象などについてノートに書き、発表し合う。 知識…遠吠え・群を作る・赤ずきん・オオカミと三匹の子ブタ・ニホンオオカミは絶滅した 印象…ヒツジを襲う・悪者・強い・ずるがしこい
まとめ	○本時を振り返る。	5分	○本時を振り返って内容を再確認するとともに、次時は自作テキストの基になる考えをとらえていくことを伝える。

9 本時の学習②

(1) ねらい

基礎資料と絵図資料とを比較・関連させながら読み、自作テキストの基となる筆者の考え方を理解する。

(2) 準備・資料

資料①(基礎資料)、資料②(絵図資料)、資料③(文章資料)『『オオカミを見る目』という文章を17の段落に分けた資料』、はさみ、のり、封筒、国語辞典、ノート、付箋紙

(3) 本時の展開

	学習活動	時	指導上の留意点・支援 評価項目 予想される反応
つかむ	○前時の内容を振り返り、本時の学習の目標を知る。	5分	○筆者が書いた文章「基礎資料」と「絵図資料」を関連させながら、筆者の考えをとらえるよう伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「基礎資料」と「絵図資料」から、自作テキストの基になる筆者の考え方をとらえよう。</div>
追究する	○筆者の立場やこれまでに取り組んできた活動の内容、考え方などについて知る。	25分	○『筆者のメッセージ・書評』という文章を「基礎資料」とし、それに関係する写真・絵図などの資料を「絵図資料」として、それぞれから情報を取り出して関連させながら、筆者の立場や活動内容、考え方を知り、自作テキストの基となる筆者の考え方をとらえる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・赤ずきんの絵や狼男の絵から、悪そうなオオカミの様子が想像できるが、神社や稲刈りの写真はどのような関係なのだろう・シカやオオカミなど、野生動物の調査を行っている、人間と野生動物との関係をよくしたいと思っている・生態学の中でも保全生態学を研究していて、オオカミの絶滅を例に人と野生動物との共存を考えている </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【読むこと】 B…文章にあるにある表現や絵図の印象から筆者の活動や思いを捉えている。 </div>

			A…文章と絵図の情報を結び付けて筆者のものの考え方や主張を捉えている。(ノートへの記述確認)
	○意見交流を行う。	15分	○グループ内で、二つの資料を関連させて読み取った筆者の考えについて伝え合い、交流する 【関心・意欲・態度】 B…進んで意見を述べようとしている。 A…進んで意見を述べ、友達と意見交流しようとしている。(行動の観察)
まとめ	○本時を振り返る。	5分	○今回とらえた筆者の考え方が自作テキストの基になる考えであることを確認し、次時はこの考えに沿って構成を考えていくことを伝える。

9 本時の学習③

(1) ねらい

自作テキスト作成に向けて、文章資料と絵図資料とを比較・関連させながら序論と結論をとらえ、絵図の配置について考える。

(2) 準備・資料

資料①(基礎資料)、資料②(文章資料)、資料③(絵図資料)、はさみ、のり、封筒、国語辞典、ノート、付箋紙

学習活動	時	指導上の留意点・支援	評価項目	予想される反応
つかむ ○前時の内容を振り返り、本時の学習の目標を知る。	5分	○基になる考え方に沿って、文章全体の大枠をとらえるため、17枚の文章資料から初めの部分と終わりの部分を見付けるよう伝える。		
文章全体の大枠をとらえるため、「文章資料」から序論と結論にあたる段落を見付けよう。				
追究する ○文章資料と絵図資料を比較関連させながら序論と結論をとらえ、理由を説明できるようにする。	25分	○段落ごとに分解した文章資料(a～q)から序論と結論にあたる段落を見付け、それぞれにふさわしいと思う絵図資料を選んで理由を説明する。 ・読者に問題を投げかけているから最初の方にくるはずである・筆者の考えを読者に向かって投げかけているので結論である・それまでの例をまとめているので結論のまとめりである ・論理的文章の基本的な型である序論(問題提示)―本論(分析・検討)―結論に当てはめて考えることを確認する。 ・必要に応じて国語辞典で意味調べを行う。 【読むこと】 B…最初と最後の段落(hとl)を指摘することができる。		

		<p>A…序論と結論の意味段落（h d k mとp l）を指摘することができる。（行動の観察、資料への記述確認）</p> <p>B…文章に対応させる適切な絵図を選び、理由を言うことができる。</p> <p>A…文章に対応させる適切な絵図について、根拠を明確にして説明することができる。（資料への記述確認、ノートへの記述確認、行動の観察）</p>
	○意見交流を行う	<p>15分</p> <p>○グループ内で、序論と結論に関する各自の考えを根拠を基に伝え合い、交流する。</p> <p>・序論と結論について交流した内容を発表し合い、全体で確認する。</p>
まとめ	○本時を振り返る。	<p>5分</p> <p>○文章全体の大枠としての序論結論を確認し、次時は本論の構成を見ていくことを伝える。</p>

9 本時の学習④

(1) ねらい

自作テキスト作成に向けて、文章資料と絵図資料とを比較・関連させながら本論をとらえ、絵図の配置について考える。

(2) 準備・資料

資料①（基礎資料）、資料②（文章資料）、資料③（絵図資料）、はさみ、のり、封筒、国語辞典、ノート、付箋紙

(3) 本時の展開

	学習活動	時	指導上の留意点・支援 評価項目 予想される反応
つかむ	○前時の内容を振り返り、本時の学習の目標を知る。	5分	○序論から結論への流れを確認し、本時は本論について、文章資料と絵図資料とを比較・関連させながら読み、構成や展開を考えて再構成するよう伝える。
構成や展開を考えて本論に当たる部分を文章と絵図とで再構成してみよう。			
追究する	○序論と結論を除いた文章資料と残った絵図資料から構成や展開を考えて本論を再構成し、説明できるようにする。	40分	<p>○序論と結論から本論の構成を考え、文章資料と絵図資料とを比較・関連させながら並べ替える。</p> <p>・必要に応じて国語辞典で意味調べを行う。</p> <p>・まず、関係ありそうな段落同士を見つけてどうしてつながるのかを考え、徐々にまとまりを考える。</p> <p>・考えた内容はノートにメモしておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・この接続語が使われているので次の段落は結果が書かれている・このキーワードが共通しているのと同じまとまりである・話題提示の順番はこの表現からわかる・この絵図と関係する内容なので同じまとまりである・このキーワードに対してこの絵が最も適している・この文章はこの図を入れることでより分かりやすくなる・二つの問いがあるので、その答えがくるはずだ</p> </div>

			<p>【読むこと】</p> <p>B…文章資料と絵図資料とを関連させて文章のまとまりやつながりを考え、意味段落を作ることができる。</p> <p>A…文章資料と絵図資料とを結び付けながら文章の構成を考え、本論を三つのまとまりとしてとらえることができる。(資料への記述、ノートへの記述確認)</p> <p>【言語に関する知識・理解・技能】</p> <p>B…指示語や接続語に着目して段落のつながりをとらえている。</p> <p>A…指示語や接続語、キーワードなどに着目しながら文章構成をとらえている。(行動の観察、ノートへの記述確認)</p> <p>・活動の途中で意見交流の時間をとり、考えを広げる。</p> <p>・より分かりやすいテキストとするためにどの資料を使うのが効果的かという視点も取り入れる。</p> <p>・構成の根拠や絵図を選んだ理由を説明できるよう準備する。</p>
まとめ	○本時を振り返る。	5分	○段落と段落との関係、段落と絵図との結び付きを考えながら本論の構成を考えたか確認するとともに、次時は自分なりに本論の展開を完成させ、根拠や理由を説明できるようにすることを伝える。

9 本時の学習⑤

(1) ねらい

文章構成の順序と絵図資料の配置など構成を吟味し、その理由を自分の言葉で説明できるようにするとともに、自作テキストのレイアウトを考える。

(2) 準備・資料

資料①（基礎資料）、資料②（文章資料）、資料③（絵図資料）、はさみ、のり、封筒、国語辞典、ノート、付箋紙

(3) 本時の展開

	学習活動	時	指導上の留意点・支援 評価項目 予想される反応
つかむ	○前時の内容を振り返り、本時の学習の目標を知る。	5分	○文章資料と絵図資料とを比較・関連させながら再構成する作業を仕上げ、そのような構成にした根拠や理由を説明できるよう準備する。
文章と絵図の構成を仕上げ、そのような構成にした理由を説明できるようにしよう。			
追究する	○文章資料と絵図資料から構成や展開を考えて再構成する作業の仕上げを行い、どうしてそのような構成にしたのかを説明できるようにする。	20分	<p>○文章全体の構成を文章資料と絵図資料とを比較・関連させながら並べ替えて付箋紙に貼り付けて整理する。</p> <p>・文章のまとまりやつながり、絵図の使用が適切であるかを再度確認し、説明できるよう準備する。</p> <p>・考えた内容は付箋紙やノートにメモしておく。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・この接続語が使われているのでこの後にはこの段落がつながる・このキーワードが共通しているので同じまと</p>

			<p>まりである・この絵図と関係する内容なので同じまとまりである・このキーワードに対してこの絵が最も適している・この絵を加えることによりこのような効果がある</p>
	○グループ内で各自の考えた構成について説明し合い、意見交流を行う。	20分	<p>○交流の視点に沿って、考えを伝え合い、意見交流を行う。</p> <p>①本論の段落記号を再構成した順番に提示する。 ②意味段落とその内容について説明する。 ③絵図との関連について説明する。 ④悩んだところや困ったことなどについて説明する。 ⑤質問を受ける。(質問がなければ感想でもよい。)</p> <p>【読むこと】 B…文章資料と絵図資料とを結び付けて意味段落を構成し、理由を説明することができる。 A…文章資料と絵図資料とを結び付けて本論全体の構成をとらえ、根拠を明確に説明することができる。(資料への記述、ノートへの記述確認)</p> <p>【言語に関する知識・理解・技能】 B…指示語や接続語に着目して段落のつながりをとらえている。 A…指示語や接続語、キーワードなどに着目しながら論理の展開をとらえることができる。(行動の観察、ノートへの記述確認)</p> <p>・交流によって得た考えも参考にしながら、再度自分の構成を見直し、レイアウトを考える。 ・早く完成した生徒は、より説得力のある文章にするために、自分で表現を付け加えるよう伝える。</p>
まとめ	○本時を振り返る。	5分	○自分なりの構成を再確認し、次時は実際に自作テキストを作成、相互評価することを伝える。

9 本時の学習⑥

(1) ねらい

自作テキストを完成させて構成理由について説明し合い、相互評価を行う。

(2) 準備・資料

資料①(基礎資料)、資料②(文章資料)、資料③(絵図資料)、はさみ、のり、封筒、国語辞典、ノート、付箋紙

(3) 本時の展開

	学習活動	時	指導上の留意点・支援	評価項目	予想される反応
つかむ	○前時の内容を振り返り、本時の学習の目標を知る。	5分	○自作テキストを完成させて構成理由を説明し合い、相互評価すること		を確認する。
	自作テキストを完成させて構成理由を説明し合い、相互評価しよう。				
追	○レイアウトを基に自作テキ	20	○厚紙に印刷して配布した資料を切り貼りして、自作テキ		

究 す る	ストを完成させ、友達と評価し合う。	分	<p>ストとして完成させる。</p> <p>○完成した友達同士でテキストを交換して説明し合い、評価の視点に沿って相互評価する。</p> <p>①文章構成や展開について ②絵図の使い方について ③題名について ④アドバイス</p> <p>【関心・意欲・態度】 B…進んで友達と交流し、評価し合っている。 A…進んで友達と交流して評価し合い、アドバイスを送っている。(行動の観察)</p>
	○文章の表現の特徴や効果について評価する。	15 分	<p>○筆者の論理展開や説明の仕方、言葉の使い方など、参考にしたいところや工夫したほうがいい点を見つける。</p> <p>・例の使い方が分かりやすい・問題と答えの対応が分かりやすい・接続語が適切に使われているので構成が捉えやすい</p> <p>【読むこと】 B…筆者の論理展開や説明の仕方、文章表現の中から、参考にしたい部分を見つけている。 A…筆者の論理展開や説明の仕方、文章表現の巧みさや工夫したほうがいい点などに気付き、評価している。(ノートへの記述確認)</p>
ま と め る	○自分の学びを振り返る。	10 分	<p>○自分の学びを振り返り、学習を通して得たことや感じたことを、ノートに200字以内でまとめるよう伝える。</p> <p>【読むこと】 B…筆者の思いを想像したり、学習活動を振り返ったりして文章にまとめることができる。 A…筆者の思いを想像し、自分の感想を付け加えて適切な字数でまとめることができる。(ノートへの記述確認)</p>

10 資料

① (基礎資料) 「筆者のメッセージ・書評」

筆者のメッセージ

生態学は自然をトータルにとらえようとする学問であり、博物学的な知識を必要とする学問でもあります。それだけに時間をかけて地道な調査が不可欠です。

私は多くの人々の協力を得て、シカの頭数変動や植物への影響などについて息の長い研究をすることができました。その中で人と野生動物との共存という問題の重大さに気づき、保全生態学的な

研究にも力を入れるようになりました。

東京大学時代に大学院生とおこなったヒグマ、ツキノワグマ、ジャワマンダース、オガサワラオオコウモリなどの研究は保全を指向したものです。これらの研究のなかで哺乳類の食性がひとつの大きな比重を占めています。それは、動物の生活にとって「食」がきわめて大きな意味をもっているからです。そしてさまざまな哺乳類の食性を定量的に分析することに力をそそいできました。このことは消化器官の解剖学的特徴や、栄養状態、生息地選択、さらには種子散布など多くの研究テーマに展開しました。

またアジアの野生動物の保全はきわめて重要であるとの考えから、モンゴルのモウコガゼルやタヒ（野生馬）、シベリアマーモットなどについて生態学的研究を進めています。スリランカのアジアゾウの保全生態学も手がけていますが、現在は調査環境が不安定なため一休みしています。

20世紀が野生動物の受難の時代だったとすれば、21世紀はその反省に立って、人間と野生動物の関係を少しはよいものにしなければなりません。そのために保全生態学は有力な視点や知見を提供してくれるはずですが、また基礎的な生態学によって動物の生き方を記述することで、そのすばらしさ、もしろさを解明することも保全の大きな力になります。私もそのような生態学を進めるために微力を尽くしたいと思っています。

注

- ・ 博物学…動物学・植物学・鉱物学・地質学などをまとめた言い方。
- ・ トータル…全体的。
- ・ 不可欠…欠くことができない。必要。
- ・ 保全生態学…生態学の研究分野の一つで、「生物多様性の保全」と「健全な生態系の維持」を目的とした学問。
- ・ 保全…安全に保護すること。
- ・ 指向…ある方向をめざすこと。
- ・ 食性…ある生物の食料面から見た特性。
- ・ 定量的…物質中の成分をはかる分析法。
- ・ 知見…見解や知識。

参考「麻布大学獣医学部動物応用科学科野生動物学研究室」ホームページ

筆者の著書に対する書評

ウニや貝を増やそうとラッコを減らすと……

クマ、ニホンザル、シカなど、人に接する野生動物が問題視されている。テレビのニュースでもときどき、人里にやってきたクマが射殺されたといった話題を取り上げているし、また実際に身近なところで被害を実感している人もいるかもしれない。

たとえばクマの問題に注目すると、クマが最近になって増えてきたわけではない。人間が山を開発し、山の歩きかたをろくに知らないような人が山奥に入るようになり、クマのエサがなくなり、そのことによって人とクマが出会うようになってきているのである。このあたりだと話はまだ単純だ。問題解決は難しいが。

別の例だとまた話は難しくなる。ラッコの話だ。ラッコは腹の上で貝などを割って食べる。ユーモラスな動作を動物園などで見たことがある人も多いだろう。

さて、ラッコは貝やウニなどの海産物を食べるので、人間の競争相手と見ることもできる。北太平洋の沿岸では、駆除されてしまった。ラッコを駆除すれば貝やウニがいっぱい獲れるようになる、と考えたのだ。ところが実際には漁獲高が減ってしまった。なぜか。

調べると、昆布がすくなくなっていた。理由は、ラッコを駆除してしまったため、ラッコが食べていたウニが増えすぎて、ウニが昆布を食べていたのである。その結果、昆布が少なくなってしまった。昆布は多くの魚たちのすみかになっている。だから昆布が少なくなると、漁獲高が減ってしまったというわけである。まさかラッコを減らすことが漁獲高減少に結びつくとは考えもしていなかった人々は驚いたに違いない。

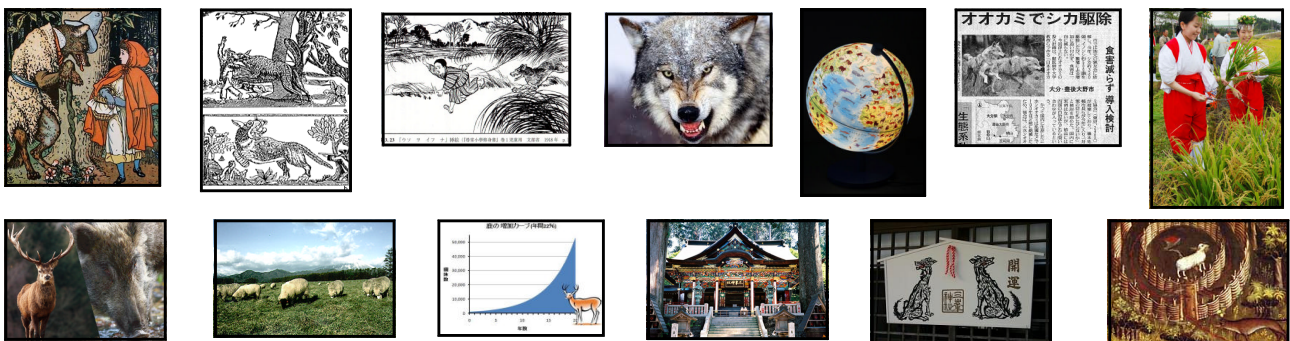
ここまでの話は、この本のイントロダクション（序論・導入部）である。この本は、生物のつながりやバランスの重要性を、保全生態学という学問をとおして解説した本だ。生物は、その生き物だけ、単独で生きているわけではない。かならず、周囲の環境と関わって生きている。その関係をあきらかにするのが生態学だ。一筋縄ではいかない野生動物との向き合いかたを考えさせられる一冊である。

人間は、様々な価値観を持っている。一人一人の価値観も違うし、国や地域によって、社会の価値観も違う。そして、それぞれ違う価値観で野生動物に接する。人間の都合や価値観は時代によって変わるのだが、価値観は野生動物の運命に大きな影響を与える。この本ではオオカミやヤギなどを例に挙げてそのことを説明している。

※「書評」…（著者以外の人）が書物の内容を批評・紹介すること。また、その文章。

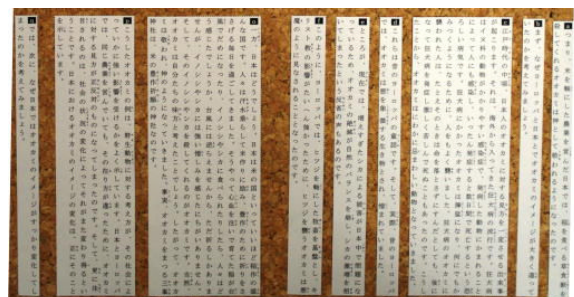
参考「かがくナビ」ホームページ

②（絵図資料）「文章の内容に関連する写真・絵図等の資料（一部）」



③（文章資料）「オオカミを見る目」

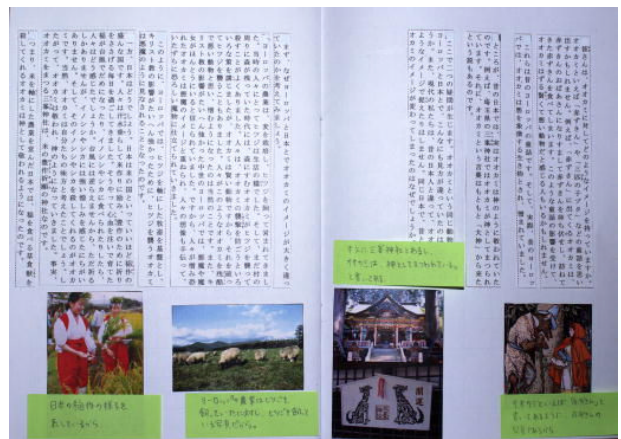
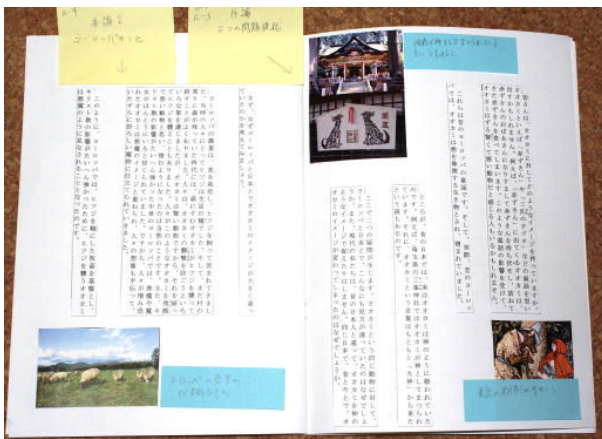
東京書籍『新しい国語1』より、高槻成紀著「オオカミを見る目」の本文を使用した。縦書き、ふりがな付きの本文を厚紙に印刷し、各形式段落に無作為にa～qの記号を付けて右の写真のように切り離し、文章資料とした。次のページに、17枚の文章資料の冒頭部分のみを、ふりがなを省いた形で掲載する。



a つまり、米を軸にした農業を営んだ日本では、稲を食べる草食獣を殺してくれるオオカミは神として敬われるようになって、
b まず、なぜヨーロッパと日本とでオオカミのイメージが大きく違っていたのかを考えてみましょう。
c 江戸時代の中頃、日本人のオオカミに対する見方を一変させる出来事が起こります。それは、海外から入ってきた狂犬病…
d これらは昔のヨーロッパの童話です。そして、実際、昔のヨーロッパでは、オオカミは悪を象徴する生き物とされ、憎ま…
e ところが、現在では、増えすぎたシカによる被害が日本中で問題になってきているため、オオカミの絶滅が自然のバランスを…
f このように、ヨーロッパでは、ヒツジを軸にした牧畜を基盤とし、キリスト教の影響がたいへん強かったために、ヒツジ…
g オオカミに対する見方のこうした変化を背景に、オオカミは害獣として駆除の対象とされるようになっていきました。更…
h 皆さんは、オオカミに対してどのようなイメージを持っていますか。オオカミといえば「赤ずきん」や「三匹の子ブタ」…
i そして、明治時代になると、日本の社会は大きな変革期を迎えます。「富国強兵」をスローガンに近代化・軍国化を…
j しかし、現代の日本人は、オオカミを神のように敬ってはいません。そればかりか、明治時代にはオオカミの徹底的な撲…
k ところが、昔の日本では、実はオオカミは神のように敬われていたのです。例えば、埼玉県の三峯神社ではオオカミが神…
l このように、人の考えや行いは、置かれた社会の状況によって異なりもするし、また変化もし得るのだということを、心…
m ここで二つの疑問が生じます。オオカミという同じ動物に対して、ヨーロッパと日本とで、こんなにも見方が違っていた…
n ヨーロッパの農業は、麦を栽培し、ヒツジを飼って営まれてきました。当時の人々にとってヒツジは生活の糧でした。そ…
o 一方、日本はどうでしょう。日本は米の国といっているほど稲作の盛んな国です。人々は汗水垂らして米作りに励み、豊…
p こうしたオオカミの例は、野生動物に対する考え方が、その社会によっていかに強い影響を受けるかをよく示しています…
q では、次に、なぜ日本ではオオカミのイメージがすっかり変化してしまったのかを考えてみましょう。

④生徒作品

文章の構成や展開を考え、レイアウトを工夫し、厚紙の台紙に「文章資料」と「絵図資料」を貼り付け、実際に作成したもの。本文は6ページで構成し、付箋紙には構成の理由が記入してある。



以下は、パソコンを操作して作成したもの。厚紙の自作テキストが完成した生徒が発展的な学習として取り組んだ。下の4作品はいずれも冒頭部分だが、文字や絵図の大きさが自由にえられるので、より個性的なテキストとなる。

皆さんは、オオカミに対してどのようなイメージを持っていますか。オオカミといえば「赤ずきん」や「三匹の子豚」などの悪徳を思い出すかもしれません。赤ずきんのおばあさんになりすまして赤ずきんを待たせし、助けてきた赤ずきんを食べてしまいました。このような悪徳の影響を受けて、オオカミはするどく鋭い動物だと感じている人もいます。これは昔のヨーロッパでは、オオカミは悪徳する生き物とされ、懼れられていました。

ところが、昔の日本では、実はオオカミは神のように敬われていたのです。例えば、埼玉県の三峯神社ではオオカミが神としてまつられています。それは、オオカミという動物も「大神」と呼ばれていたからだと考えられています。つまり、オオカミは「大神」として敬われていたのです。

ところでこの疑問が生じます。オオカミという同じ動物に対して、ヨーロッパの悪徳と、日本の神としての敬われているという違いはどこから来たのでしょうか。これは、現代の私たちが、オオカミを神のように敬うようになったのは、オオカミのイメージが変わったからではないかと考えられます。オオカミのイメージが変わったのは、オオカミの生態や習性を知ったからです。オオカミは、人間を襲うだけでなく、動物を襲うこともありますが、それはあくまで生存のために必要な行為です。オオカミは、動物の王として君臨している動物です。そして、動物の王として君臨している動物は、人間を襲うこともありません。



皆さんは、オオカミに対してどのようなイメージを持っていますか。オオカミといえば「赤ずきん」や「三匹の子豚」などの悪徳を思い出すかもしれません。赤ずきんのおばあさんになりすまして赤ずきんを待たせし、助けてきた赤ずきんを食べてしまいました。このような悪徳の影響を受けて、オオカミはするどく鋭い動物だと感じている人もいます。これは昔のヨーロッパでは、オオカミは悪徳する生き物とされ、懼れられていました。

ところが、昔の日本では、実はオオカミは神のように敬われていたのです。例えば、埼玉県の三峯神社ではオオカミが神としてまつられています。それは、オオカミという動物も「大神」と呼ばれていたからだと考えられています。つまり、オオカミは「大神」として敬われていたのです。

ところでこの疑問が生じます。オオカミという同じ動物に対して、ヨーロッパの悪徳と、日本の神としての敬われているという違いはどこから来たのでしょうか。これは、現代の私たちが、オオカミを神のように敬うようになったのは、オオカミの生態や習性を知ったからです。オオカミは、人間を襲うだけでなく、動物を襲うこともありますが、それはあくまで生存のために必要な行為です。オオカミは、動物の王として君臨している動物です。そして、動物の王として君臨している動物は、人間を襲うこともありません。



皆さんは、オオカミに対してどのようなイメージを持っていますか。オオカミといえば「赤ずきん」や「三匹の子豚」などの悪徳を思い出すかもしれません。赤ずきんのおばあさんになりすまして赤ずきんを待たせし、助けてきた赤ずきんを食べてしまいました。このような悪徳の影響を受けて、オオカミはするどく鋭い動物だと感じている人もいます。これは昔のヨーロッパでは、オオカミは悪徳する生き物とされ、懼れられていました。

ところが、昔の日本では、実はオオカミは神のように敬われていたのです。例えば、埼玉県の三峯神社ではオオカミが神としてまつられています。それは、オオカミという動物も「大神」と呼ばれていたからだと考えられています。つまり、オオカミは「大神」として敬われていたのです。

ところでこの疑問が生じます。オオカミという同じ動物に対して、ヨーロッパの悪徳と、日本の神としての敬われているという違いはどこから来たのでしょうか。これは、現代の私たちが、オオカミを神のように敬うようになったのは、オオカミの生態や習性を知ったからです。オオカミは、人間を襲うだけでなく、動物を襲うこともありますが、それはあくまで生存のために必要な行為です。オオカミは、動物の王として君臨している動物です。そして、動物の王として君臨している動物は、人間を襲うこともありません。



皆さんは、オオカミに対してどのようなイメージを持っていますか。オオカミといえば「赤ずきん」や「三匹の子豚」などの悪徳を思い出すかもしれません。赤ずきんのおばあさんになりすまして赤ずきんを待たせし、助けてきた赤ずきんを食べてしまいました。このような悪徳の影響を受けて、オオカミはするどく鋭い動物だと感じている人もいます。これは昔のヨーロッパでは、オオカミは悪徳する生き物とされ、懼れられていました。

ところが、昔の日本では、実はオオカミは神のように敬われていたのです。例えば、埼玉県の三峯神社ではオオカミが神としてまつられています。それは、オオカミという動物も「大神」と呼ばれていたからだと考えられています。つまり、オオカミは「大神」として敬われていたのです。

ところでこの疑問が生じます。オオカミという同じ動物に対して、ヨーロッパの悪徳と、日本の神としての敬われているという違いはどこから来たのでしょうか。これは、現代の私たちが、オオカミを神のように敬うようになったのは、オオカミの生態や習性を知ったからです。オオカミは、人間を襲うだけでなく、動物を襲うこともありますが、それはあくまで生存のために必要な行為です。オオカミは、動物の王として君臨している動物です。そして、動物の王として君臨している動物は、人間を襲うこともありません。



⑤ 相互評価カード

記入者 ()	①	文章の構成(文章の型・まとめ)と展開(文章の順序)をとらえている。	5	4	3	2	1
	②	文章との関連を考え、絵図を効果的に使用している。	5	4	3	2	1
	③	読み手のことを考え、読みやすい構成を心がけている。	5	4	3	2	1
	④	文章や絵図の構成意図を、根拠を明確にして説明している。	5	4	3	2	1
	⑤	よいところ・アドバイス等					
	『自作テキスト作り』評価カード ()さんの作品について						

〈国語科・読むこと〉の学習に関するアンケート

3年 組 番 氏名

このアンケートは、〈国語科・読むこと〉の学習と今回の授業に関するみなさんの意識を中心に知るために行うものです。学校の成績にはいっさい関係ありませんので、いろいろな事を気にせず、現在のあなたの気持ちを正直に答えてください。

質問1 『国語科の学習について』

《回答方法について》

◇次の項目について、当てはまるものを一つ選び、数字に○をつけてください。

「そう思う」・・・・・・・・・・ 4

「だいたいそう思う」・・・・・・ 3

「あまりそう思わない」・・・・・・ 2

「そう思わない」・・・・・・ 1

	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1 本（文章）を読むことが好きだ。	4	3	2	1
2 説明文を読むことが好きだ。	4	3	2	1
3 筆者の考えを読み取るのことは楽しい。	4	3	2	1
4 論理の展開や文章の構成を考えることは楽しい。	4	3	2	1
5 文章表現の方法や効果を考えることは楽しい。	4	3	2	1
6 形式段落を見分けることができる。	4	3	2	1
7 意味段落を見分けることができる。	4	3	2	1
8 キーワードを見つけることができる。	4	3	2	1
9 段落を要約することができる。	4	3	2	1
10 段落と段落の関係をつかむことができる。	4	3	2	1
11 文章全体の要旨をつかむことができる。	4	3	2	1

質問2 『今回の授業について』

《回答方法について》

◇次の項目について、当てはまるものを一つ選び、数字に○をつけてください。

「そう思う」・・・・・・・・・・ 4

「だいたいそう思う」・・・・・・・・ 3

「あまりそう思わない」・・・・・・ 2

「そう思わない」・・・・・・・・・・ 1

◇下の（ ）は、理由を簡単に書いてください。

1 このような形式の授業は、おもしろい。 4 3 2 1

()

2 このような形式の授業は、文章の理解に役立つ。 4 3 2 1

()

3 今回取り上げた文章の内容はおもしろかった。 4 3 2 1

()

4 今回取り上げた文章の長さはちょうどよかった。 4 3 2 1

()

5 今回行った学習の時間配分はちょうどよかった。 4 3 2 1

()

6 今回の授業を通して、思ったこと、感じたこと、印象に残ったこと、こうした方がいいとか、ここはまずいなどの意見・苦情等、何でもいいので書いてください。

.....

◎アンケートに協力していただき、ありがとうございました。(塩野谷)